

学年	教科名	科目名	単位数	対象コース
高校2年	数学	数学Ⅱ	3	GS
教科書・副教材		NEXT 数学Ⅱ（数研出版）、NEXT 数学Ⅲ（数研出版） サクシード数学Ⅱ+B+C（数列 統計的な推測 ベクトル）（数研出版） サクシード数学Ⅱ+B+C（複素数平面 式と曲線）（数研出版）		

科目の目標			
■いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 ■数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身につける。 ■数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身につける。			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	■複素数の意味や解と係数の関係を理解し、式の展開や因数分解、等式・不等式の証明ができる。 ■座標平面上の点、直線、円の方程式を理解し、図形的な性質を数式で処理できる。 ■指数・対数の性質を理解し、常用対数を用いた計算や関数の挙動を把握できる。 ■微分係数や導関数の意味、積分の計算方法を理解し、面積の算出などができる。	■応用問題に対し、どの公式や概念を適用すべきかを選択し、解決の見通しを立てている。 ■数学的帰納法や背理法などの論法を用い、主張の根拠を明確にして説明している。 ■現実の事象を数学Ⅱの範囲で捉え直し、最大・最小問題を解決している。	■複雑な計算や証明問題に対し、あきらめずに試行錯誤を繰り返して取り組んでいる。 ■間違えた問題に対して、どこでつまづいたかを確認し、修正して次に活かそうとしている。 ■1つの正解を得るだけでなく、別解を考えたり、グラフソフト等を使って視覚的に確認したりしている。
評価の方法	定期考査／単元テスト パフォーマンス課題 リフレクション など	定期考査／単元テスト パフォーマンス課題 リフレクション など	定期考査／単元テスト パフォーマンス課題 リフレクション など

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1 学 期	第2章 複素数と方程式		定期考査
	第1節 複素数と2次方程式	8	単元テスト
	第2節 高次方程式	5	パフォーマンス課題
	第3章 図形と方程式		リフレクション
	第1節 点と直線	6	
	第2節 円	8	
	第3節 軌跡と領域	6	
	第4章 三角関数		
	第1節-1,2 三角関数	2	
2 学 期	第4章 三角関数		定期考査
	第1節-3,4,5 三角関数	5	単元テスト
	第2節 加法定理	9	パフォーマンス課題
	第5章 指数関数と対数関数		リフレクション
	第1節 指数関数	5	
	第2節 対数関数	8	
	第6章 微分法と積分法		
	第1節 微分係数と導関数	5	
	第2節 関数の値の変化	9	
	第3節 積分法	9	
3 学 期	【数学Ⅲ】第1章 関数		定期考査
	分数関数・無理関数・逆関数と合成関数	6	単元テスト
	【数学Ⅲ】第2章 極限		パフォーマンス課題
	第1節 数列の極限	9	リフレクション
	第2節 関数の極限	7	